

国・公・私立大学の新任教員が大学の壁を越えて学び合い、交流する

# 第9回 新任教員研修セミナー

アクティブ・ラーニング、その導入から深化へ

2泊3日

2019年

9月2日(月)～4日(水)

場所：大学セミナーハウス

主催：公益財団法人 大学セミナーハウス

共催：公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩



近年の日本の大学教育では、たしか知識や技能を身につけるとともに、分野や立場の違いを超えて協働することのできる知性を育むことが求められています。また、激しい変化の時代を豊かに生き、社会に貢献していく能力の基盤となるような、学び続ける姿勢や力を培う教育も切実に希求されています。こうしたかつてないほどの期待と要求に応えるべく、多くの大学に導入されたのがアクティブ・ラーニングであることは言うまでもありません。しかし、そうした学びを引き出していくべきわたしたち大学教員の理解やスキルは必ずしも十分ではない、というのが実感ではないでしょうか。

アクティブ・ラーニングは、導入から量的な拡大という段階を経て、今まさに質的深化が問われる時代へと突入しています。そうした深化に資するために、本セミナーでは、アクティブ・ラーニングを円滑かつ効果的に実施する上で不可欠な相互理解や人間関係の構築に始まり、発達障害などの困難を抱えた学生への対応に至るまで、アクティブ・ラーニングの基礎、理論、授業設計、様々な実例などを3日間にわたって体験的に学び、参加者がそれぞれ担当している授業を質的に深化させる機会を提供します。

大学セミナーハウスは、大学教員相互の交流を図ることによってわが国の大学教育の向上・発展に寄与することを目的としており、今年度も学術・文化・産業ネットワーク多摩との共催で国公立大学の壁を越えた合宿形式の新任教員研修セミナーを企画しました。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

## 募集要項

【定員】 40名

【対象】 国公立大学で授業を担当する新任教員の方（年齢不問）

【費用】 50,000円

大学セミナーハウス協会員校教員：35,000円

学術・文化・産業ネットワーク多摩会員：45,000円

※参加費には宿泊（2名1室）食事・資料代、消費税を含みます。

【申込方法】 大学セミナーハウス HP 申込フォームよりお申込みください。

【申込締切】 7月31日（水）

【問合せ先】 大学セミナーハウス・セミナー事業部

TEL：042-677-0141 FAX：042-676-1220

E-mail：seminar@seminarhouse.or.jp

URL → <https://iush.jp/>

## セッションタイトルと要旨



## プログラム

### ○ 第1日 9月2日 (月)

【セッション1】 SPA ファシリテータ 佐藤順子  
アクティブ・ラーニングに向けた関係性作り

【セッション2】 東京女子医科大学看護学部准教授 諏訪茂樹  
相互理解を深め、人間関係を築くコミュニケーション・ワーク

大学での新しい仲間との出会いは、生涯の友を得る貴重な機会となる。しかし、社会経験の乏しさから人間関係を上手く築けず、深入りし過ぎてトラブルになったり、孤立してしまったりする学生もいる。学生の仲間づくりをサポートし、新しい環境への適応を促すコミュニケーション・ワークを紹介する。

### ○ 第2日 9月3日 (火)

【セッション3】 東京農工大学グローバル教育院教授 藤井恒人  
大学生の育った環境、受けてきた教育 — 「高大接続」の視点から—

今年の大学入学者の多くは2000年(平成12年)生まれである。いわゆる“脱ゆとり世代”の彼らが育った環境、受けてきた教育をまず概観する。また「高大接続改革」、「学習指導要領の改訂」などの進捗も踏まえ、大学教員が接する学生の特徴、留意点を参加者間でいっしょに考えたい。

【セッション4】 明星大学明星教育センター特任准教授 福山佑樹  
アクティブ・ラーニングの理論と実際

アクティブ・ラーニング(AL)は高等教育において定着したといえるが、闇雲に導入されているケースも残念ながら存在する。このセッションではALが求められるようになった背景など、その基本的な考え方に触れるとともに、文理それぞれの実践例を紹介し、ALを効果的に授業に取り入れるためのヒントを提供する。

【セッション5】 芝浦工業大学教育イノベーション推進センター教授 榊原暢久  
アクティブ・ラーニングを機能させるための半期の授業設計・1コマの授業設計

学生が授業の到達目標に達するようにアクティブ・ラーニングを機能させるには、事前の授業設計が必要である。半期の授業設計部分では、授業の到達目標を確認し、その評価方法、授業方法、授業外学修課題について考える。1コマの授業設計部分では、発問を取り入れた1コマの授業構成について考える。

【セッション6】 明星大学副学長・人文学部教授 菊地滋夫  
多様性が活きる学びを目指して

発表者が経験した授業における失敗の歴史を振り返り、試行錯誤しながら取り組んできたアクティブ・ラーニング型授業を紹介する。そして、その過程で気づかされた「多様な学生が助け合い、支え合いながら、能動的に授業に参加すること」の意義について、今日の高等教育の課題を踏まえて論じる。

### ○ 第3日 9月4日 (水)

【セッション7】 首都大学東京大学教育センター准教授 伏木田稚子  
「わかる」を深め「考える」を育む反転授業の基本

反転授業とは、講義動画の視聴を中心とする事前学習と、対面での個別指導や双方向型の学習活動を組み合わせた手法を指す。本セッションでは、知識の習得・適用という観点から、①学習目標の明確化、②講義動画の作り方、③学習活動のデザインについて、実践的な知見を共有したい。

【セッション8】 明星学苑法人本部課長 村山光子  
困難を抱える学生の理解のために — 合理的配慮を踏まえて—

2018年度の高等教育機関進学率は81.5%と過去最高となっている。進学率の高まりとともに多様な学生が大学等へ入学する中、特に発達障害を中心とする困難を抱えた学生への対応について、2016年4月に施行された障害者差別解消法および合理的配慮の観点から参加者の皆さまとともに検討・共有したい。

第1日目 9月2日 (月)	
13:00 ~	開会
13:40 ~ 15:40	【セッション1】
16:00 ~ 18:00	【セッション2】
18:00 ~ 18:10	オリエンテーション
19:00 ~	情報交換会
第2日目 9月3日 (火)	
9:00 ~ 10:30	【セッション3】
10:40 ~ 12:10	【セッション4】
13:00 ~ 16:30	【セッション5】
16:40 ~ 18:10	【セッション6】
19:00 ~	情報交換会
第3日目 9月4日 (水)	
9:00 ~ 10:00	【セッション7】
10:10 ~ 12:00	【セッション8】
12:00 ~ 12:30	閉会、解散

## 運営委員

◇委員長◇

明星大学副学長・人文学部教授 ----- 菊地滋夫

◇委員◇

東京女子医科大学看護学部准教授 ----- 諏訪茂樹

明星大学明星教育センター特任准教授 ---- 福山佑樹

首都大学東京大学教育センター准教授 ---- 伏木田稚子

東京農工大学グローバル教育院教授 ----- 藤井恒人

